



あ、自分にもできる（親近感）活動があるかもしれない（興味・関心）参加してみよう（行動）  
そんな会員向け通信を目指しています。



## 理科実験と地域デザイン活動

理科実験グループは2010年に発足、今年15周年を迎えた。「子供たちに理科の楽しさを」という志を持った会員が、議論・工夫を重ね27のテーマで出前授業を行っている。「会社の元肩書や世代を超え、同じレベルで自由に議論し合える場が気に入っている」と、ご自身も10年活動している加藤リーダーは語る。

この15年間大いに成果を挙げてきた。実験で色が変わった時の子供たちの「わあっ」という表情を見るたびに、自分自身が幼少の頃リトマス試験紙の実験に夢中になったことを思い出す。それが自分の原点だと思うと、理科実験Gの役割は大きいと感じる。

しかし、子供をとりまく環境が変わりニーズが変化しているのも事実だ。学校単体ではなく地域で子供を支援する動きもあるし、キャリア教育との抱き合わせの需要もある。他のDF部会・会員との協働が全国展開の糸口になる可能性はある。グループとして、活動の新しい仕組み作りを考え始める時かもしれない。地域デザイン活動との親和性はあるだろう。

談：加藤信子（1103） 理科実験グループリーダー

相模の国倶楽部との協働開催（9月）となった相模原市橋本駅での理科実験の詳細はコチラ↓

<https://directforce.net/2025/09/27/18502/>

## ◆ ◆ 私の推し街 連載 ◆ ◆



### 知る人ぞ知る北アルプス絶景ポイント ～長野県 大町市

井上史男 (677)

そこは車で簡単に行けます。ただし車から降りたら長靴に履き替え、熊鈴を付け、入口にある募金箱になにがしかの木戸銭を入れて一本道を歩いて下さい。キョロキョロしないで真直ぐ前を向いてしばらく歩きます。やがて坂道になり小高い丘を登っていきます。まだ振り返ってはなりません。森が迫って坂道を上り終えたら、ここで振り返って下さい。歓声を上げてその絶景に見とれるはずですよ。



中山高原 水彩画 井上史男  
スケッチブック両開き 21×59cm

ここは長野県大町市中山高原。県道 31 号長野大町線の途中にあります。季節は 4 月下旬がベスト、高原は菜の花が咲き乱れ、白樺が芽吹き、桜が咲きます。そしてその先に残雪の蓮華岳、爺ヶ岳、鹿島槍ヶ岳の雄姿。ここは私が推す最高のスケッチポイントです。



#### 《イベントのお知らせ&報告》

・10月25日(土)～26日(日) 秋のキッズフェスタで理科実験グループがワークショップを開催  
@国立オリンピック記念青少年総合センター/代々木公園

・11月13日（木）第12回地域デザイン勉強会 14:00~15:30（Zoom開催）  
元厚生労働省事務次官、東京大学高齢社会総合研究機構（IOG）客員研究員 辻哲夫氏に、  
「健康生きがい権」と題し、フレイル予防を含む産官学民活動についてお話しいただきます

・9月8日（月）第11回地域デザイン勉強会が開催されました。  
牧野篤地域デザイン本部本部長が「広い世界から深い宇宙へ ～満足して最期を迎えるための処方箋  
～」と題し、DF 会員に対して今まで培った経験を地域への貢献に活かすことが、人生の最終章を豊かに  
すると提言しました。

詳細はこちら ↓

<https://directforce.net/2025/10/05/18648/>

**問い合わせ先**：ご意見、感想、お問合せなど下記までお寄せください。お待ちしております

[dfchiiki-tsushin@directforce.org](mailto:dfchiiki-tsushin@directforce.org)

編集部：小島千代美・松瀬高志・宮武里美・岡田知之

DF の持つコンテンツは多彩だ。中でも理科実験グループの活動は、他の部会・同好会との協働で、より  
幅広い地域活動に繋がっていくのではないかと（編集後記 K）

**地域デザイン通信** バックナンバーはこちら <https://directforce.net/regional-design/>  
ページの一番下までスクロールしてください。